

令和(7)年度 教科(国語) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを旨とする

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力) 思考力・表現力、主体性、自己有用感

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使おうとする
- (2) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力・表現力を養おうと(自分の思いや考えを広げようとしたり、深めようとしたり)する
- (3) 言葉を通じて主体的に(積極的に)人と関わる中で自己有用感を高めたり、(関わったり)、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・定期テスト ・小テスト ・授業課題(スピーチ・レポートの技能等) ・書写作品	・定期テスト ・聞き取りテスト、作文テスト等 ・授業課題(スピーチ・レポートの内容等) ・ワークシート等	・提出物 ・ワークシート ・行動観察 ・振り返りシート	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

	学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連			
国語	1	4	言葉を磨く 作品を論じる D 効果的に伝える	生命は	1	理科 書写・理科			
		5		世界への入り口	2				
				俳句の読み方、味わい方／俳句五句	2				
		6		俳句の創作と句会	3				
				間違いやすい敬語	1				
		7		間違いやすい言葉	1				
				形	3				
		8		提案や主張の聞き方	2				
送り仮名	1								
国語	2	9	表現を評価する D 多面的に検討する 伝統文化を受け継ぐ 主題を考える D 思いを馳せる	百科事典少女	4	社会・理科・技家・保体 社会 社会			
		10		対比と象徴	1				
				和語・漢語・外来語	1				
		11		他教科で学ぶ漢字(1)	1				
				受け取る「利他」	4				
		12		具体例、根拠、反対の関係	1				
				「広告」の批評文	5				
		1		言葉の移り変わり	1				
				初恋	1				
		3		万葉・古今・新古今	3				
				おくのほそ道	3				
		3		論語	3				
他教科で学ぶ漢字(2)	1								
3	故郷	5							
	条件スピーチ	3							
3	四字熟語	1							
	本との付き合い方／私のベストブック	2							
書写	1	D 思いを馳せる	いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災	3	社会(公民)・理科・保体・家庭				
			時を超える手紙	5					
			合意形成の仕方	1					
			合意形成を目指す話し合い	4					
	2		文法のまとめ	1					
			レモン哀歌	1					
	3		生ましめんかな	2					
			国際社会と私たち	3					
	書写		1	身の回りの文字の目的と工夫 手書き文字の特徴		身の回りの文字の目的と工夫	2	美術	
						2	現代につながる文字の役割		1
							自分のノートを見直す—効果的な書き方を工夫する		1
						3	書き初めをしよう		2
思いを文字で表そう		2							
総時数		105 時間							

令和(7)年度 教科(社会) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて、多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)身の周りにある情報を分析し、何を意味しているかを考え、課題・問題を見抜き、その解決をはかる方法を探し出し、表現する能力と態度を身につけている。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト) 課題提出(記録の整理、内容)	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト) 課題提出(記録の整理、内容)	振り返り(授業、テスト等)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	開国と近代日本の歩み 二度の世界大戦と日本	明治維新(3)	19	特別の教科道徳・保健体育 特別の教科道徳 理科
	5		日清・日露戦争と近代産業(4) 第一次世界大戦と日本(2) 大正デモクラシーの時代(2)		
	6	世界恐慌と日本の中国侵略(3) 第二次世界大戦と日本(5)	12		
	7	現代の日本と私たち 戦後日本の出発(3) 冷戦と日本の発展(5) 新たな時代の日本と世界(4)		理科 技術・家庭科	
8	現代社会と私たち	D 現代社会の特色と私たち(6)	16	特別の教科道徳	
2	9	個人の尊重と日本国憲法	私たちの生活と文化(4)	19	特別の教科道徳
	10		D 現代社会の見方や考え方(6) 人権と日本国憲法(7)		
	11	人権と共生社会(7) D これからの人権保障(5)	26		
	12	現代の民主政治と社会 現代の民主政治(8) 国の政治のしくみ(11) 地方自治と私たち(7)		技術・家庭科	
	私たちの暮らしと経済	消費生活と市場経済(7)	29		

3	1	地球社会と私たち より良い社会を目指して	生産と労働(6)	15	技術・家庭科
	2		市場経済の仕組みと金融(7)		特別の教科道徳
	3		財政と国民の福祉(5) これからの経済と社会(4) 国際社会の仕組み(7) D さまざまな国際問題(5) これからの地球社会と日本(3) より良い社会を目指して(4)		理科・技術
総時数		140時間			

令和(7)年度 教科(数学) 第(3)学年 年間指導計画

<p>【教科の目標】 基礎・基本の定着をはかり、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する</p>

<p>【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力) 事象を数理的に捉え、収集した情報を活用して、問題を自立的、協働的に解決しようとする</p>
--

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 小テスト	定期テスト 小テスト ワークシート・ノート(記述内容) 行動観察(発言、取組の様子)	振り返り(記述内容) ワークシート・ワークブック(記述内容) 行動観察(発言、記述、取組の様子)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4 5	1章 多項式	○多項式の計算(8)	20	
	6	2章 D 平方根	○因数分解(6) ○式の計算の利用(6) ○平方根(7) ○根号をふくむ式の計算(7) ○平方根の利用(3)	17	
	7 8	3章 2次方程式	○2次方程式とその解き方(12) ○2次方程式の利用(5)	17	
2	9	4章 D 関数 $y=ax^2$	○関数 $y=ax^2$ (2) ○関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方(14)	20	理科
	10 11	5章 相似な図形	○いろいろな関数の利用(4) ○相似な図形(11) ○平行線と比(7) ○相似な図形の面積と体積(6)	24	社会
	12	6章 D 円	○円周角の定理(8) ○円周角の定理の利用(5)	13	
3	1	7章 三平方の定理	○三平方の定理(5) ○三平方の定理の利用(9)	14	社会 総合
	2 3	8章 D 標本調査 まとめ	○標本調査(9) ○まとめ(6)	9 6	
	総時数		140時間		

令和(7)年度 教科(理科) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

自然の事物・現象に関り、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力) 主体性・思考力・表現力・自己有用感

自然の事物・現象への理解と探究心をもち、ICT 機器を活用し、科学的に説明しようとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 観察・実験レポート (記録の整理、資料の活用、記述内容) パフォーマンステスト	定期テスト 観察・実験レポート(記述内容) ワークシート(記述内容) プレゼンの内容	振り返りシート 観察・実験レポート(記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言、記述、行動内容)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1~3	4 3	D 化学変化とイオン	○水溶液とイオン(9) ○酸、アルカリとイオン(10) ○化学変化と電池(11)	30	技術・家庭科 保健体育
		D 運動とエネルギー	○物体の運動(10) ○力のはたらき(9) ○エネルギーと仕事(13)	32	
		D 地球と宇宙	○地球の運動と天体の動き(10) ○月と金星の見え方(8) ○宇宙の広がり(6)	24	技術・家庭科
		D 科学技術と人間	○科学技術と人間(8) ○自然災害と地域のかかわりを学ぶ(6) ○持続可能な社会をつくるために(7)	21	技術・家庭科 特別の教科道徳 社会
		D 自然と人間	○自然環境の調査と保全(5)	5	
1~3	4 3	D 生命の連続性	○生物の成長と生殖(7) ○遺伝の規則性と遺伝子(9) ○生物の多様性と進化(6)	28	保健体育 特別の教科道徳
		D 自然と人間	○自然のなかの生物(6)		
総時数		140 時間			

令和(7)年度 教科(音楽) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

- 音楽活動の楽しさを体験することを通して音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を育てる
- 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

生徒自らが音楽への見方・考え方を働かせ、仲間と協働しながら、音楽や音楽文化に豊かにかかわろうとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・ペーパーテスト(定期テスト) ・技能テスト(歌や器楽テスト) ・行動観察(練習・取組の過程や内容)	・ペーパーテスト(定期テスト) ・ワークシート(記述内容) ・鑑賞の記録、レポート(記述内容)	・振り返りシート ・レポート(記述内容) ・ワーク(記述内容) ・行動観察(発言、記述、取組様子)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	題材名	教材名、学習内容(時数)	時数	他教科等(道徳)との関連
1	4	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	○花 ○花の街 ○早春賦	4	国語 英語
	5	曲想や構造に注目して聴こう アルトリコーダを演奏しよう	○ポレロ ○アルトリコーダ アンサンブル曲	2 3	
	6	音楽と背景となる文化や社会における意味を感じ取って表現しよう	○Hey Jude ○ポピュラー音楽	2	
	7	D音のつながりや構成を工夫して音楽をつくろう	○My Melody ○Let's Create!	4	
2	8	D合唱の響きを味わって歌い、合唱で心を通わせよう	○学年合唱曲 ○クラス合唱曲	5	特別の教科道徳
	10	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	○交響詩ブルタバ(モルダウ) ○帰れソレントへ	4	社会(地理、歴史)
	12	ギターの基礎的な奏法を身につけて演奏しよう	○ギターでドレミファソラド ○ギターで簡単な曲を演奏しよう	4	
3	1	日本の伝統芸能に親しもう	○能「敦盛」	2	社会(歴史)
	2	D音楽と生活のつながり、社会における意味を知り音楽を楽しもう	○ルールを守って音楽を楽しもう ○伝統音楽の魅力を見つけよう	2	特別の教科道徳 社会(地理、歴史)
	3	仲間とともに表情豊かに合唱しよう	○旅立ちの日に、卒業の歌他	3	
総時数		35 時間			

令和(7)年度 教科(美術) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度が身に付く。
- (2) 対象を辛抱強く見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や、形や色彩による表現の技能を身に付け意図に応じて創意工夫し、美しく表現する能力が発揮できる。
- (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の力が付く。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・作品(完成度) ・期末試験(記述問題) ・期末試験(実技問題)	・作品(アイデア) ・アイデアスケッチおよび下描 ・期末試験(実技問題)	・授業への取り組み ・提出物 ・授業態度	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	・D 鑑賞	○浮世絵とジャポニズム	1	社会 国語
	5	・絵画	○立体表現	1	
	6	・D 鑑賞	○鉛筆デッサン	4	
	7	・絵画	○オノマトペの表現(宮沢賢治)	1	
	8	・学期のまとめ	○物語画	5	
			○学期のまとめ	1	
2	9	・D 鑑賞	○HIROSHIMA APPEALS 平和ポスター	1	技術・家庭科
	10	・鑑賞	○様々な立体表現	1	
	11	・デザイン	○3Dボックス	9	
	12	・学期のまとめ	○学期のまとめ	1	
3	1	・D 鑑賞	○フォークロアアート	1	社会 数学
	2	・絵画	○点描画	5	
	3	・工芸	○パターン版画(布地)	3	
		・学期のまとめ	○1年間のまとめ	1	
総時数		35 時間			

令和(7)年度 教科(保健体育) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

合理的で安全な練習や活動の中で、自身の体の変化に気づき、身体表現としての技能を身につける。できる・わかるための課題を発見・解決する過程で仲間と協働し、主体的に学習に取り組む。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度(5段階評定)
評価内容	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けているか。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けているか。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養っているか。	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 実技テスト 学習ノート・ワークシート	定期テスト 振り返りカード・ワークシート 行動観察	振り返りカード・ワークシート 行動観察	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	体づくり運動	○様々な体力を高めるための運動を行う	7	特別の教科道徳
	5	陸上競技(短距離走・リレー)	○競技会:グループ対抗、個人対抗	8	特別の教科道徳
	6	D 器械運動(マット運動) 保健(健康な生活と疾病の予防)	○技を組み合わせてスムーズにつなげる ○感染症、保健・医療機関の利用、医薬品の有効利用、共に健康に生きる社会	10 6	特別の教科道徳 社会 理科 技術・家庭科
	7	D 武道(柔道)	○身につけた基本となる技を使って攻防を楽しむ ○練習課題を決めて練習	8	特別の教科道徳
2	8				
	9	D 球技(ベースボール型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	10	特別の教科道徳
	10	球技(ゴール型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	9	特別の教科道徳
	11	ダンス 保健(健康と環境)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する ○環境の変化と適応能力、活動に適した環境、室内の空気の条件	8 5	特別の教科道徳 社会 理科 技術・家庭科
	12	陸上競技(長距離走) 保健(健康と環境)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する ○水の役割、生活排水の処理、ごみの処理、環境の汚染と保全	6 5	特別の教科道徳 社会 技術・家庭科
3	1	体育理論(文化としてのスポーツ)	○スポーツの文化的意義、国際的なスポーツ大会とその役割、人々を結びつけるスポーツ	3	社会
	2	D 球技(ネット型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	11	特別の教科道徳
	3	球技(ゴール型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	9	特別の教科道徳
総時数		105 時間			

令和(7)年度 教科(技術・家庭科 技術分野) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

情報の技術の基礎的な理解と、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート 小テスト 定期試験 制作品	ワークシート 設計図 定期試験 制作品	ワークシート 授業の振り返り 設計図 行動観察	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	D D 情報の技術	2-1 双方向性のあるプログラムコンテンツによる問題解決	8	
	5 6 7 8				
2	9	2-2 計測・制御による問題解決	8	8	
	10 11 12				
	1				
3	2	3 これからの情報の技術 学習のまとめ	0.5	1	
	3				
総時数		17.5 時間			

令和（ 7 ）年度 教科（技術・家庭科 家庭分野）第（ 3 ）学年 年間指導計画

【教科の目標】

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート（記述内容） ペーパーテスト（定期テスト）	ワークシート（記述内容） ペーパーテスト（定期テスト） 長期休暇の課題	振り返りシート ワークシート（記述内容） 行動観察（発言、記述、行動内容） 長期休暇の課題	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	自分の成長と家族・家庭生活	①家族・家庭生活	1	特別の教科道徳 特別の教科道徳 社会 保健体育
	5	D 幼児の生活と家族	②中学生としての自立	1	
			③家庭生活と地域との関わり	1	
			①幼い頃の振り返り	1	
			②幼児の体の発達	1	
			③幼児の心の発達	1	
			④幼児の生活の特徴	1	
	6		⑤幼児にとっての遊びの意義	1	
7		⑥幼児の課題と実践（幼児の小物作り）	2		
8					
2	9	D 金銭の管理と購入	⑦幼児の関わり方の工夫	2	社会 技術
	10		⑧子供が育つ環境としての家族の役割	1	
	11		①消費者としての自覚	1	
			②購入方法や支払方法の特徴	1	
			③計画的な金銭の管理	1	
12	④消費者被害	1			
	⑤商品の選択	1			
3	1	D 消費者の権利と責任	①消費者の権利と責任	1.5	特別の教科道徳
	2		②消費生活が環境や社会に及ぼす影響		
	3	これからの家族と地域	③持続可能な消費生活を目指して	1	
			①家族とのかかわり		
			②家族や地域の高齢者との関わり		
		③地域での協働を目指して			
総時数	17.5 時間				

令和(7)年度 教科(英語) 第(3)学年 年間指導計画

【教科の目標】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

1. はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる
2. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる
3. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる
4. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる
5. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、単元テスト、小テスト) リスニングテスト	ペーパーテスト (定期テスト、単元テスト、小テスト) リスニングテスト パフォーマンステスト ワークシート(記述内容) プレゼンの内容(記述内容) 言語活動の取り組み状況の観察	振り返りシート ワークシート(記述内容) パフォーマンステスト 言語活動の取り組み状況の観察 小テスト、リスニングテスト	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	Unit0 Discover a New Side of Classmates	○現在形、過去形、because などを用いた文	5	国語
	5	Unit1 What is special about Japanese pop culture?	○現在完了形(経験)、SVOC、SVOO(that 接)	18	
	6 7 8	D Unit2 How do you choose your clothes?	○現在完了形(完了・継続)、現在完了進行形	19	
2	9	Unit3 How can we save animals?	○It is for ...to..., want 人 to+動原 let(help)人+動原	18	理科
	10	D Stage Activity 1	○日本や郷土の文化を紹介する。	8	
	11 12	Unit4 How can we help each other in a disaster? Unit5 What makes a good leader?	○間接疑問文、SVOO(what 節)、現在分詞、過去分詞 ○関係代名詞 that(which)【主格・目的格】	19 18	
3	1	D Stage Activity 2	○これまでの経験をふり返り活動報告を発表する。	8	社会
	2	Unit 6 What does it mean to be a global citizen?	○仮定法(I wish I could / had (If+主語+were...))	17	
	3	D Stage Activity 3	○既習事項の総復習、ディベート	10	
総時数		140時間			